

科目名 Course Name	国際観光論 International Tourism			ナンバリング No.	E4-001		
年次	2年	期別	後期	単位数	2	授業形態	講義
担当者氏名	原田 紀彦						
連絡方法	C-Learning で対応						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP5,DP6						
授業の概要と到達目標	<p>この講義では、人口減少社会に突入し、活力が失われていくことが懸念される日本の将来に対する救世主として、国も本格的な取組みを行っている海外からの訪日外国人（インバウンド）誘致について、その現状と今後の課題等について学習していく。</p> <p>①訪日外国人旅行者誘致の歴史について、説明することができるようにする。</p> <p>②国が力を入れ始めている訪日外国人誘致促進の背景を、説明することができるようにする。</p> <p>③インバウンド需要に対応する宿泊業者や輸送業者が直面している現況や課題を、説明することができるようにする。</p>						
授業の方法	テキストを使用し、外国人旅行者受入の歴史や、国が外国人旅行者受入に積極的に取り組んでいる背景などについて解説する。また、インバウンドの現状や今後の見通し、インバウンド関連産業の取組み等についても、具体例を盛り込み解説する。アクティブ・ラーニングを実施する。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	<p>①訪日外国人旅行者誘致の歴史について、説明することができる。</p> <p>②国の訪日外国人誘致促進策の背景を、説明することができる。</p> <p>③インバウンド需要に対応する宿泊業者や輸送業者が直面している現況や課題を、説明することができる。</p>					
	L04	今後地方への波及が期待されるインバウンド需要の重要性を、説明することができる。					
課題に対するフィードバック	質問や疑問等に対しては、授業内にて回答・説明し、各自にフィードバックする。						
教科書/参考図書	教科書:インバウンド概論(JTB 総合研究所) ※必ず購入すること。						
履修上の留意点やルール等	<ul style="list-style-type: none"> ●3分の1以上欠席した場合は、理由の如何を問わず単位認定しない。 ●遅刻厳禁、私語は慎むこと。授業途中での無断退出禁止。携帯電話の使用・飲食は厳禁。 ●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。 						
担当教員の実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ●実務経験(職種:旅行業、職歴:通算31年) <p>インバウンド実務の経験に基づき、国内観光現場における業務経験を、授業内で活かす。</p>						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	授業に集中し、ノートをとる。不明なことがあれば積極的に質問する。自分の意見を述べるなどが評価の対象となる。S評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。			15	15
レポート/作品					
発表					
小テスト					
試験	インバウンドの歴史、国の政策に関する理解、インバウンド関連産業をめぐる現況と課題等についてしっかりと理解が出来る			50	20

	いるかどうか、が評価のポイントになる。S 評価の基準：S=90-100				
その他					
合 計				65	35

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション（講義の進め方）
	事前・事後学習	オリエンテーション内容の再確認
2	授業内容	訪日外国人旅行者誘致の歴史 I
	事前・事後学習	I 訪日外国人旅行者誘致の歴史（第 1 章・第 2 章）
3	授業内容	訪日外国人旅行者誘致の歴史 II（海外旅行自由化とインバウンド他）
	事前・事後学習	I 訪日外国人旅行者誘致の歴史（第 3 章・第 4 章・第 5 章）
4	授業内容	訪日外国人旅行者誘致の歴史 III（20 世紀末までの主な国際観光政策他）
	事前・事後学習	I 訪日外国人旅行者誘致の歴史（第 6 章・第 7 章）
5	授業内容	ビジット・ジャパン・キャンペーン
	事前・事後学習	II インバウンドは今（第 1 章）
6	授業内容	訪日外国人旅行者の現況
	事前・事後学習	II インバウンドは今（第 2 章・第 3 章）
7	授業内容	国・地域別のマーケット特性
	事前・事後学習	II インバウンドは今（第 4 章）
8	授業内容	外国人旅行者誘致上の課題と関連法
	事前・事後学習	II インバウンドは今（第 6 章・第 7 章）
9	授業内容	インバウンド関連産業をめぐる現況と課題 I（旅行業）
	事前・事後学習	III インバウンド関連産業をめぐる現況と課題（第 1 章）
10	授業内容	インバウンド関連産業をめぐる現況と課題 II（宿泊業・運輸業）
	事前・事後学習	III インバウンド関連産業をめぐる現況と課題（第 2 章・第 3 章）
11	授業内容	インバウンド関連産業をめぐる現況と課題 III（観光施設）
	事前・事後学習	III インバウンド関連産業をめぐる現況と課題（第 4 章・第 5 章）
12	授業内容	外客誘致諸機関と新たな取組み I（日本政府観光局とその他の関連団体）
	事前・事後学習	IV 外客誘致機関と新たな取組み（第 1 章・第 2 章）
13	授業内容	外客誘致諸機関と新たな取組み II（地方自治体の取り組みと広域連携）
	事前・事後学習	IV 外客誘致機関と新たな取組み（第 3 章・第 4 章）
14	授業内容	インバウンド実務 I（予約依頼の方法や仕事の流れ）
	事前・事後学習	V インバウンドの実務（第 1 章・第 2 章）
15	授業内容	インバウンド実務 II（具体的な依頼と回答事例）
	事前・事後学習	V インバウンドの実務（第 3 章） 試験に向けた I～V までの復習